

会員の皆様

春暖の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

5月8日から新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが季節性インフルエンザなどと同等の「5類」へ移行されることに先駆け、3月13日から屋内でのマスク着用が個人の判断に委ねられることになりました。多くの企業が緊急事態宣言に対する措置として導入したテレワークについても、最近では従来の出社型勤務、いわゆるオフィスワークに戻す企業が徐々に増えています。

コロナ禍において多様な働き方が模索されてきたこの3年間、テレワークでは社員相互のコミュニケーション不足が何よりも問題になりました。しかし今後は、ようやく慣れたテレワークから、通勤ラッシュや直接上司や同僚と顔を合わせて業務を遂行する環境に、再び順応することを求められるようになります。アフターコロナの急激な環境変化の中で、多様な働き方とストレスの相関性について、EAPとしてはその動向を注意深く見守っていく必要があると思われまます。

さて、今号では日本 EAP 協会の活動報告として経済産業省との連携状況や研修会のご報告、ならびに調査研究支援事業や研修会等のご案内をさせていただきますので、是非ご一読ください。

ニュースレター及びホームページは、会員の皆様からの有用な情報を共有いただく場でございますので、掲載のご希望がございましたら、ぜひ事務局までご連絡いただけますと幸いです。

会員の皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【日本 EAP 協会 2022 年度活動の報告 経済産業省との連携状況】

日本 EAP 協会副会長 前田一寿

1. 対外活動

現在、私は当協会でご広報業務も担当し、官庁等からの問い合わせ対応にも関わっています。

行政機関から当協会へのアプローチとして多いのが、経済産業省です。経済産業省は、健康経営優良法人認定事業や、同銘柄選定を主管し、健康経営を通じて新たな産業の育成や就業者の質向上による生産性向上、価値創造の力を高めていくことを考えています。その為、一昨年より本業務の担当課であるヘルスケア産業課からヒアリングの声をかけてもらうことが増えています。

これまで、同課との間で WEB ヒアリング&ミニ公聴会が2回開かれました。

- ・2021年7月 9日（金）10時～
- ・2022年5月12日（木）14時～

続いて、当協会が共催する「こころの健康と経営フォーラム」でも同課のご担当者に WEB でのご講演を実施いただきました。（開示期間：2022 年 12 月～2023 年 1 月）

また、同課が同事業推進のための研究を AMED、NTT データ経営研究所に委託した事業が主宰するラウンドテーブルにも、メンタルヘルスケア業界の唯一の業界団体としてオブザーバー参加をしております。

2. 経済産業省からみた当協会の位置づけ

経済産業省と当協会との連携はかなり深まっています。

メンタルヘルスケア業界のユーザー側、特に企業・職場のニーズ、現在不足する点、IT 化できる点といった情報を持ち、実際にパイプを持つのは EAP 相談機関であるとの重要なレイヤーとして位置づけていただいています。今後、当協会の役割はこれまでの EAP 相談機関としてだけでなく、最近参入が続く IT 企業まで巻き込んだ展開を求められています。

なお、健康経営も包括して企業活動に大きな影響を与えると言われる人的資本経営も経済産業省が大きく関わっています。人財教育・育成も企業の価値創造にいかに関わりつけ、社会への貢献を進めていくか、そして個々のウェルビーイングを高めていくか、EAP 機関や EA プロフェッショナルの得意領域がさらに注目度を増していくものと思われます。

【令和 4 年度第 6 回日本 EAP 協会研修会のご報告】 【第 16 回 こころの健康と経営戦略フォーラム】

2022 年度のフォーラムは日本 EAP 協会と関西福祉科学大学 EAP 研究所との共催にて実施いたしました。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、令和 4 年 12 月 12 日（月）～令和 5 年 1 月 31 日（火）までオンデマンド配信での開催となりました。

メインテーマを「進化する健康経営：ウェルビーイング、人的資本経営とともに」とし、ウィズコロナ時代で「進化する健康経営」を各々の企業や組織で、どのように創り出していくかについて、政策的側面から実践的側面まで、それぞれの立場から示唆に富む提言をいただきました。

今回のフォーラムでは産業医や産業保健スタッフ、人事労務担当者、EAP 関係者、社会保険労務士等、日本全国にお住いの 47 名の方々に幅広くご覧いただき、「健康経営の理解を深める良い機会となった」などの感想をいただき、盛況のうちに閉会いたしました。



<プログラム>

【基調講演】健全な産業育成に向けて、エビデンスに基づいた製品・サービスの必要性およびそれに紐づく
当課の施策のご紹介

演者：神野 真帆氏（経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課）

【講演 1】企業の Well-being 実現に向けて～DX×ヒトによる EAP の可能性～

演者：宮尾 亮子氏（株式会社保健同人フロンティア 事業開発部）

【講演 2】ウェルビーイング実現を目指して

演者：吉田 直美氏（日本新薬株式会社 人事部 ウェルビーイング推進課）

（文責：関西福祉科学大学 EAP 研究所）

●●●日本 EAP 協会調査研究支援事業●●●

日本 EAP 協会ではわが国における EAP のさらなる発展のため、令和 4 年度より若手研究者や実務者を対象に調査研究事業の支援を行います（予算 25 万円）。応募は随時受付けておりますので、以下の要領に沿ってお申込みください。

日本 EAP 協会調査研究費申請について（令和 4 年 7 月 30 日 制定）

日本 EAP 協会は、わが国における EAP のさらなる発展を意図して、会員である若手の研究者や実務者を対象として、彼(女)らが行う調査研究事業の支援を行う。

年間助成金総額 250,000 円（1 件 50,000 円）

申請書の形式・書式については自由とするが、用紙は A4 タテ(左右が長辺、上下は短辺)とし、日本語で横書き、ワードによる作成を原則、文字サイズは 10.5 以上、全体を 4 ページ以内とすること。また、以下の 1. および 2. に書かれている項目については必ず記載すること。

1. 申請者の氏名、生年月日（西暦）、所属機関の名称、所属機関の住所(〒も)および連絡方法（電話、ファックス、メールアドレス等）、自宅住所および自宅への連絡方法、義務教育終了後の学歴および職歴(非常勤勤務等含む)、日本 EAP 協会会員歴について必要十分な情報を簡明に記載すること。
2. 研究課題、研究計画、研究経費、研究チームの概要、および研究成果の有用性について簡明に記載すること。なお、その他として追加的記載を加えることは、所定のページ数を超えない限り、差し支えない。
3. 申請先：日本 EAP 協会事務局（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室内、HP 参照）
審査は当分の間、日本 EAP 協会の役員会において行われる。

* 調査研究費の助成を受けた方には、次年度総会において成果報告をしていただきます。

●●●HP 「求人コーナー」の増設について●●●

日本 EAP 協会では、会員同士が相互に協力・連携するため、EAP や心理職の採用・就職活動を応援しています。協会ホームページに求人のメニューを設け、随時掲載を受付しています。

ぜひご活用ください。

The screenshot shows the homepage of the Japan EAP Association. At the top, it says '日本EAP協会' and 'Japan Employee Assistance Professionals Association'. There is a navigation bar with buttons for '定義・ガイドライン', '概要', '入会案内', 'セミナー', 'リンク', '活動内容', '調査研究事業', '求人', and 'お問合せ'. The '求人' button is highlighted. Below the navigation bar, there is a large green banner with the text '求人' and '求人募集の案内です。' (Job Search: This is the guide for job recruitment.). To the right of the banner is a photo of a man and a woman in professional attire.

●●●研修会のご案内●●●

【令和5年度第1回研修会「EAプロフェッショナル研修会 online2023ver.#1」】

「海外 EAP の歴史と最新動向：グローバル化と DX」

プレゼンター：市川佳居 先生（一般社団法人国際 EAP 協会日本支部理事長）

EAP はアメリカで始まった職場のメンタルヘルスのしくみですが、我が国でも 1990 年代半ばから浸透し始め、現在では産業メンタルヘルスの主流となっています。公認心理師試験にも EAP は正式な項目としてはいり、心理職、産業カウンセラーにとって、知っておくべき大変重要なコンセプトです。



本研修会では、EAP 発祥の地である北米の EAP に関しての情報を中心に、欧州、アジア太平洋地域の EAP におけるデジタル・トランスフォーメーションなどもご紹介し、アフターコロナの EAP の役割を皆様と一緒に考えたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日程：2023/5/18（木） 19：30～21：00
- 開催方式：ハイブリッド開催（Zoom または現地来場）
- 参加費：無料（会員）／ 1,500 円（非会員）
- 申込方法：右に記載の QR コードより GoogleFoam にアクセスしお申込みください。
- 申込先：eapkensyu@gmail.com



<注意> 非会員の方は、お振込みにて申込完了です。満席の際は研修会事務局よりご連絡いたします。

- ・ゆうちょ銀行: 018（ゼロイチハチ）支店普通口座:8556286
- ・郵便局からの場合: 記号:10130 番号:85562861 名義「ニホンイーエーピーキョウカイ」

- 申込期限：2023/5/6（土）までにお申込、および振込（非会員のみ）を完了してください。
- 本研修会に関する問合せ：eapkensyu@gmail.com まで
- 主催：日本 EAP 協会研修委員会

●●●会員の皆様へ●●●

当協会では研修会のご案内等は主にメールでご連絡しておりますが、メールアドレスの変更等の理由により送信できないケースが増えております。また、郵送でもあて所不明で返還されるケースが増えております。連絡先（住所、電話番号、メールアドレス等）が変更になった場合は、必ず事務局までお知らせいただけますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます（「会員情報変更届」は日本 EAP 協会ホームページ「入会案内」<http://eapaj.umin.ac.jp/info.html> より入手できます）。